

2021 年度宗教研究会を開催（2月18日）

「救済か社会貢献か—宗教活動の未来」というテーマの下、2021 年度宗教研究会では、高瀬顕功氏（大正大学社会共生学部公共政策学科地域構想研究所・専任講師）と中臺眞治氏（天理教畑沢分教会長）が発題した。

高瀬氏は、『『ホーム』を失って生きる—ひとさじの会の支縁—』と題した講演で、ひとさじの会の支援活動を浄土宗の教えを交えながら考察した。ホームレスに対する支援活動は、「ハウス」（住居）だけではなく、「ホーム」（精神的安らぎ）も重要となるという。ひとさじの会では、ホームを失ったことによる自尊感情の喪失からの回復や、他者とのつながりの喪失からの回復を支える活動を行っている。

中臺氏は、「困窮者支援と信仰の継承—報徳分教会における困窮者支援をはじめとして—」と題した講演で、自立的な生活が困難となった人々の受入れ活動を、信仰の継承を交えながら発表した。中臺氏の両親は、長年、報徳分教会で生活困窮者を受け入れてきた。中臺氏は、「分かるから行うのではなく、行うから分かるようになる」という信仰についての父の言葉と、「できるから行うのではなく、行うからできるようになる」という困窮者支援への道のりが重なってきた。

宗教者による支援活動は、宗教の社会貢献でありながらも、信仰者にとっては、信仰に基づいた宗教活動でもある。支援活動は信仰が醸成される場でもある。宗教研究には、宗教者の支援活動の実態調査ばかりではなく、信仰者の内面に対する共感的理解が求められる（澤井眞記）。

2022 年度公開教学講座のご案内

— 信仰に生きる『逸話篇』に学ぶ（8） —

2022 年度の公開教学講座は、以下の日程で、昨年度と同様にオンラインでの配信を予定しております。ただし、状況に応じて、対面での開催も検討いたします。

- | | | |
|-----|-----|---------------------------|
| 第1回 | 5月 | 永尾教昭所長
151話「をびや許し」 |
| 第2回 | 6月 | 澤井眞研究員
111話「朝、起こされるのと」 |
| 第3回 | 9月 | 岡田正彦研究員
139話「フラフを立てて」 |
| 第4回 | 10月 | 八木三郎研究員
108話「登る道は幾筋も」 |
| 第5回 | 11月 | 森洋明研究員
119話「遠方から子供が」 |
| 第6回 | 1月 | 堀内みどり主任
126話「講社のめどに」 |

2021 年度「教学と現代」

去る2月25日に開催された澤井義次天理大学名誉教授の最終講義「生きることの意味とその理解—天理教人間学の地平から—」をオンラインで配信しています。

研究所ホームページよりご視聴ください。

2021 年度公開教学講座

— 信仰に生きる『逸話篇』に学ぶ（7） —

- | | |
|-----|---------------------------|
| 第1回 | 永尾教昭所長
110話「魂は生き通し」 |
| 第2回 | 金子昭研究員
127話「東京々々、長崎」 |
| 第3回 | 尾上貴行研究員
130話「小さな埃は」 |
| 第4回 | 澤井治郎研究員
138話「物は大切に」 |
| 第5回 | 島田勝巳研究員
123話「人がめどか」 |
| 第6回 | 澤井義次研究員
115話「おたすけを一条に」 |

オンラインで配信中

グローバル天理

第23巻 第4号（通巻268号）

2022年（令和4年）4月1日発行

© Oyasato Institute for the Study of Religion
Tenri University

発行者 永尾教昭

編集発行 天理大学 おやさと研究所

〒632-8510 奈良県天理市杣之内町1050

TEL 0743-63-9080

FAX 0743-63-7255

URL <https://www.tenri-u.ac.jp/oyaken/index.html>

E-mail oyaken@sta.tenri-u.ac.jp

印刷 天理時報社

Printed in Japan